

戦国大名武田氏の権力構造



[戦国大名武田氏の権力構造_下载链接1](#)

著者:丸島和洋

出版者:思文閣

出版时间:2011-3

装帧:平装

isbn:9784784215539

戦国大名はどのような伝達ルートを介して家中の内外との意思の疎通を行ったのか？本書は甲斐武田氏を分析対象とし、家中を代表して他大名との外交を担った「取次」に着目。領国支配における意思伝達経路の検討とあわせて、大名権力の中枢を構成する家臣や、大名と家臣の関係について見つめ直し、戦国大名の権力構造を明らかにする。

作者介绍:

まるしま・かずひろ……1977年大阪府生．慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学．博士（史学）．現在慶應義塾大学文学部非常勤講師．共編に『戦国大名武田氏の権力と支配』（岩田書院，2008年）．

目录: 序 章 戦国大名研究の現状と本書の視角

戦国大名研究の現状／本書の視角／本書の構成

第1部 戦国大名間外交と取次

第1章 武田氏の対上杉氏外交と取次

甲越同盟の成立と展開／上杉氏担当取次の検出／取次の整理

第2章 武田氏の対佐竹氏外交と取次

甲佐同盟の成立／他大名との交渉への展開／佐竹氏担当取次の検出

第3章 武田氏的外交取次とその構成

取次の検出／取次の構成とその意義／取次になることの意味

第4章 大名間外交と「手筋」ー越相同盟再考ー

越相同盟と「手筋」論／同盟交渉の展開と「手筋」の変遷／越相同盟における「手筋」と取次

第5章 取次の書状作成過程

北条氏房・氏規書状の作成／北条綱成書状の作成／取次書状作成の背景

第6章 取次の独断ー島津氏の事例からー

肥後阿蘇氏の従属交渉にみる取次の体面／豊後入田氏の支援要請と島津家久／上井寛兼の取次化と独断行動／大名と取次の意向の乖離

第7章 取次給の宛行

中世の主従制と多属の領主／大名間外交の取次と反対給付／国衆側の取次と戦国大名

第2部 大名家中の権力構造と領域支配

第8章 武田氏の領域支配と郡司ー信濃国諏方郡支配を事例としてー

武田氏における領域支配者の概念規定／天文～弘治期の諏方郡支配／奉書式朱印状の創出と諏方郡司／武田領国における郡司

第9章 武田氏の領域支配と取次ー奉書式朱印状の奉者をめぐってー

朱印状奉者の性格／家臣団統制における取次／領域担当取次の設定と戦争の展開／朱印状奉者からみた取次の寡占化

第10章 武田家臣三枝氏の家意識とその変遷

戦国期三枝氏の政治的動向／三枝氏の家意識とその変遷

第11章 武田氏の一門と領域支配

戦国大名家中における一門／武田信繁の政治的位置／御一門衆の基盤／御一門衆と領域支配／諏方勝頼の高遠領支配

第12章 室町～戦国期の武田氏権力ー守護職の評価をめぐってー

戦国大名論と戦国期守護論／甲斐守護武田家の成立と断絶／室町後期の武田氏と幕府・鎌倉府／戦国期武田氏の勢力拡大と守護職

終章 戦国大名武田氏権力の特質と構造

中近世移行期権力における意思伝達と取次／戦国大名権力の特質

初出一覧

あとがき

索引（人名・寺社名／事項）

・ ・ ・ ・ ・ [\(收起\)](#)

[戦国大名武田氏の権力構造_ダウンロード1](#)

标签

武田氏

日本史

戦国時代

戦国

感兴趣

其它

评论

[戦国大名武田氏の権力構造_ダウンロード1](#)

书评

[戦国大名武田氏の権力構造_ダウンロード1](#)